

IFAT Africa 2019 ファイナルレポート

上下水・廃棄物・リサイクル・専門見本市
2019年7月9日～11日
南アフリカ / ギャラガーコンベンションセンター

2019年7月15日

南アフリカにおける環境問題への熱心な取り組み

Summary

- 出展社数・来場者数ともに増加
- 有意義な他見本市との同時開催
- サハラ以南アフリカ地域産業の拠点として高評価



Facts & Data

会 期	2019年7月9日(火)～11日(木) 午前9時～午後5時(最終日のみ午後4時まで)
会 場	ヨハネスブルク / ギャラガーコンベンションセンター (Gallagher Convention Centre (GCC))
主 催	Messe Muenchen GmbH - メッセ・ミュンヘン Messe Muenchen South Africa (Pty) Ltd - メッセ・ミュンヘン・南アフリカ
パ ー ト ナ ー	IWMSA - Institute of Waste Management of Southern Africa WISA - Water Institute of Southern Africa
規 模	17,000 m ² (同時併催見本市含む)
出 展 企 業	172社
来 場 者 総 数	3,302人
主 な 出 展 品	水抽出技術、上水・下水処理、配水・下水管、廃棄物処理、リサイクル、廃棄物発電、エネルギー効率技術(上・下水、廃棄物、リサイクルのサービス・製品含む)、工場跡地汚染除去、土壌処理、排ガス洗浄、空気抽出技術、防音、測定・制御・ラボ技術、環境マネージメントとサービス、学術研究・リサーチ など
専 用 U R L	www.ifat-africa.com

2019年7月9日から11日まで南アフリカ共和国で開催された第3回 IFAT Africa は、上下水・廃棄物・リサイクル業界をリードする見本市としての地位が強固なものとなった。南アフリカ共和国ヨハネスブルクの見本市会場では、出展社数と来場者数の増加によって、活気に満ち、この地域の環境技術市場に関する楽観的見通しが浸透した。

ヨハネスブルクのギャラガーコンベンションセンターで開催された IFAT Africa 2019 には、環境産業界から関連企業 172 社が参加し、ソリューションを展示した。この出展社数は、2017 年の前回開催比 13% 増という結果であった。国内企業と外国企業の占める割合に変わりはない一方、参加者の国際性は多様化を続けている。そのことは、この見本市への出展参加国が、2017 年では 16 カ国であったのに対し、今回は 19 カ国であることから分かる。中国、ドイツ、オランダなど、そして、今回初設営のイタリアとオーストリアが自国パビリオンで成功を収めた。IFAT Africa のオーガナイザーであるメッセ・ミュンヘン Managing Director の Stefan Rummel は、「世界の市場がアフリカに集結し、地元市場のリーダーやステークホルダーと経験やノウハウを交換することができて、大変嬉しく思う。これはサハラ以南のアフリカにおける環境課題について、論議し、解決策を見出すために、まさに必要なことだ」と語った。

来場者数 3,302 人は 83% 増

IFAT Africa 2019 の来場者数は、2017 年の前回開催時より 83% 増加し、3,302 人に上った。見本市は、南アフリカ市場に支持されただけでなく、ボツワナ、カメルーン、コートジボワール、モザンビーク、スワジランド、タンザニア、チュニジア、ザンビア、ジンバブエからの来場者をも魅了した。南アフリカ Kaeser Compressors 社 Managing Director の Geoff Houlgate 氏は「弊社ブースへの来客の声を分析したところ、この見本市は、アフリカ諸国からヨハネスブルクを訪れた潜在顧客や関係者たちを再び魅了することに成功したことがはっきりと分かった」と、確信をもって述べた。

analytica Lab Africa と food & drink technology Africa との同時開催

IFAT Africa に加えて、メッセ・ミュンヘン主催のほかの二つの見本市、food & drink technology Africa (略して fdt Africa) と analytica Lab Africa が同時に開催された。メッセ・ミュンヘン南アフリカ CEO の Suzuette Scheepers は、三つの見本市のコロケーションがもたらす出展社と来場者にとっての利点について、「各業界をリードする見本市がプラットフォームを共有することにより、環境産業、飲料・食品業界、さらにはラボ・分析技術のトレンドやイノベーションに関して、広範囲かつ包括的な情報を入手することが可能であった」と述べた。QFS の Process Engineer である Annejan Visser 氏は、「ビジネスのきっかけを掴むことができ、とても有益であった。コロケーションによって新たな見込み客に出会うことができた」と述べた。

三つの見本市は、ギャラガーコンベンションセンターの 4 ホールと一つの屋外展示スペースの 17,000 m² を使用して開催された。出展社総数 385 社が、8,324 名の来場者に自社のソリューションと製品を紹介した。IFAT Africa への出展 172 社に加え、analytica Lab Africa には 148

社、food & drink technology Africa には 65 社が出展した。今回の成功によって、2021 年 7 月 13 日から 15 日まで、同じ場所で、三つの見本市が再び併催される予定である。

併催プログラムへの大きな関心

世界中で開催される八つの IFAT 見本市の伝統を踏まえて、包括的な併催プログラムは、活発な議論と知識の共有を確かなものにした。参加者は、サハラ以南のアフリカ地域における差し迫った環境課題について、例えば、大量の電子機器スクラップをどのように扱うべきか、飲料水の供給や下水処理の複雑な課題にどう対処すべきか、といった議論に大きな関心を示した。技術領域と資金分野に対するソリューションのほかにも、併催プログラムでは、教育、高度な訓練、



リクルーティングといったテーマも大きく取り上げた。Zoomilion Ghana Limited の Communications Manager である James Deku 氏は、IFAT Africa の若い専門家のためのキャリアマネジメントセミナーで、「アフリカ大陸の有能な専門家や創造性豊かな開発者は、アフリカが必要とする環境技術のシステムとサービスを、協業して創造するキーパーソンである」と述べた。

次回の IFAT Africa は 2021 年 7 月 13 日～15 日に Gallagher Convention Centre で、analytica Lab Africa、food & drink technology Africa と同時開催される予定だ。

見本市の詳細情報は専用ホームページをご参照ください: www.ifat-africa.com

資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先:

メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社 メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.de (英語 / ドイツ語)